

ふじやまだより

第34号

発行 2005年

10月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会

お月見の会 ———ちよつと暑かった、でも盛大に実施———

恒例の“お月見の会”が9月23日(金)秋分の日に催されました。あいにくの曇り空と前日が寝待月に当たったことでお月さまの顔を見ることができませんでした。

古民家の縁側には団子、野菜、果物やすすきなどの生花が供えられました。団子は当日飛び入りの兎が搦いたものかもしれません。

庭ではお茶席が設けられて、お客さまにお茶の立て方を教えていました。お茶席の隣では句会が開かれていてお客さまからもたくさんの投句がありました。



人気があった句には公園の窯で焼いた竹炭の賞品が手渡されました。

人気のあった投句

また蕎麦の引き換えに並んでいた男性は、「笠間と瀬上の間をウォーキングするたびにふじやま公園に寄るけれど、きょうはたまたまお月見にぶつかった」と嬉しそうでした。

座敷ではお箏と胡弓による「さくら」や、フルートと電子ピアノの演奏で「長崎の鐘」、「『冬のソナタ』より」などが続くと会場一杯のお客さま

は聞きほれて、中には音楽に合わせて手を振る方も。

そして一転、落語「火焰太鼓」が上演されると軽妙な語り口に会場

は爆笑に包まれました。次の尺八とお箏の「月の砂漠」ではお客さまからハミングが起こりました。

華麗な日本舞踊が上演された後、最後の篠笛の演奏ではお客さまと一体になって、「里の秋」が合唱されてお月見の会の幕を閉じました。

公園事務所では、「来年はさらに工夫をしたい」とのことです。



大広間月見のため開かれて	満月でふじやま公園楽しいな	古民家が月でかがやく夜の空	長屋門風とくぐりて月の宴
--------------	---------------	---------------	--------------



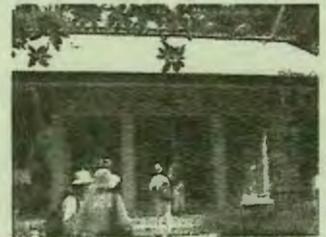
身近なところに歴史発見!

人気のコースを再び訪ねて

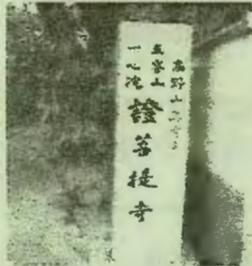
「第一回栄区歴史双六」を再探訪(上郷西、東地区) 古民家歴史部会 小澤静子
 八軒谷戸バス停-昇竜橋・白山神社跡-冷泉家墓所-御岳神社-中島薬師-御嶽山遥拝所-経堂橋-白山神社-光明寺-旧白山神社拝殿跡地(思金神社)-深田製鉄跡地-上郷猿田遺跡-横堰-貝化石露出地-深田やぐら-平尾桃岸斎筆子塚-西行坂-證菩提寺-
 亀井戸-堀ぶち-角田家長屋門-稲荷森力石



9月12日(月)、ふじやま公園古民家歴史部会長の木島さん(写真左)の案内で歩き始めました。参加者は24名。昇竜橋、白山神社の神職をしていた内田家の先祖冷泉家の墓を見学し、山岳信仰の御岳神社、御嶽山遥拝所、庄戸にあるイザナギ、イザナミを祭った白山神社(写真右)を拝観しました。光明寺では、住職の北条さんより(この地域の地名とのつながりから推測される歴史)を話して頂きました。



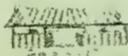
午後は旧白山神社拝殿跡(思金神社)を通して今は埋め戻されている上郷高校の近くにある7世紀~9世紀の深田製鉄所跡と縄文時代の住居跡地の猿田遺跡の付近を眺め、山の崖の貝化石露出地を見て、保存していくことが出来ないか考えました。鎌倉時代のお墓である深田のやぐらを見学。押切橋の近くの「耕堂学舎」を作った国学者の平尾桃岩斎の筆子塚に参りました。



稲荷森では源頼朝が彼の身代わりになった佐那田与一のため建立(1189)した證菩提寺(写真左)に行きました。この地は鎌倉の鬼門にあたり、昔は七堂伽藍を配し、東西1200m南北1800mの境内を擁していたそうです。僧兵も多く鎌倉を守る役目もありました。

亀井戸は證菩提寺の僧坊の井戸として使われ、堀ぶちは僧坊の堀があったところからそう呼ばれていました。江戸時代末期に建てられた角田家の長屋門、力石を見学し、解散しました。

た。



イベント案内



本郷台駅前駐輪場作品展示ご案内

11月8日(火)から11月20日(日)の約2週間、工作棟教室で行なわれた作品の発表展示があります。展示種目は「七宝焼、鎌倉彫、染色、刺し子、布細工、遊布、粘土工芸、創作人形、造形遊び、植物画、木版画、布草履、竹細工、子ども工作の日」で展示コーナーの6ブースに、それぞれの先生方の特長を生かして飾ります。本郷台駅前の駐輪場を通る時は足を止めてご覧になって下さい。一年間の作品が楽しめます。



つれづれのうた

竹伐られ切り口を風はしりけり 成瀬桜桃子

小鳥来て午後紅茶のほしきころ 富安風生

肩に来て人懐かしや赤蜻蛉 夏目漱石

教室訪問

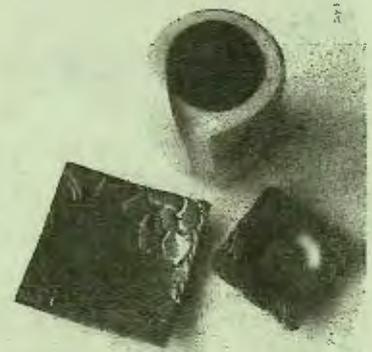
伝統工芸「鎌倉彫を彫る」の巻 (9月20日)

「鎌倉彫は、伝統と歴史のある工芸品です。木地に彫刻し漆を塗って完成ですが、ここでは彫刻のみの工程です。」と簡単な説明があり、いよいよ開始。



まずは練習用の手板に基礎刀法から始めます。
○手にした板(手板)に2、3ミリ幅の平行線を引く。
○この線を両方から60度に三角形の溝を作る。
これを薬研彫りというのだそうです。
皆さん真剣な表情で手板に向かっていました。

「肩の力を抜いて
少しづつ」という
注意を聞きながら
彫り進め、中には



[室先生の作品]

彫った面がきれいだと先生が感心する場面もありました。少し経験のある方がいて、「ざくろ」の文様を木地に写し始めました。

「刀で彫る、集中する時間がとっても楽しい…

長く鎌倉彫を続けてこられた要因のひとつです。」と室先生がご自身のことを振り返り、「新しい人々との出会いは胸が弾みます。同じく今日公園の教室に来てくださった方々も楽しみにして来られたと思います。有意義な時間を過ごしましょう。」と話しておられました。少し時間が経つと皆さん打ち解けてきて、お互いの住まいがご近所同士だとわかったり、和気あいあいとした雰囲気でした。3回完成コースの初回日に訪問しました。(訪問者 相原)

古民家Q&A 第4回 茶の間

Q: 茶の間は江戸時代にもありましたか?

A: 百科事典で調べると、私たちが思い描く「茶の間」または「お茶の間」の言葉は江戸時代には一般的でなかったと思われます。私たちが思い描く「茶の間」は和風住宅の食事室兼

居間であり、丸い卓袱台(チャブダイ)と火鉢に茶箆筥があり、家族の団欒、安楽の場所です。このような茶の間なる呼称がいつ生まれたかははっきりしませんが明治中期以降と云われています。

これらの機能は江戸時代においては農家である民家の「囲炉裏の間」に近似しています。土間につながり北側の板の間で、普通ここで囲炉裏が設けられていました。常時湯を沸かしており、食事・団欒、時には接客の場として使用され、更にはよなべの仕事の場でもありました。上述のように板敷きでしたが、必要に応じて筵(むしろ)や蓆(ござ)を敷きました。

旧小岩井家の茶の間は間口2.5間、奥行き3間です。現在は全部板敷きですが、南側2間には囲炉裏があり、かつては畳敷き(10畳)になっており、北側1間は板敷き(5畳相当)でした。奥には頑丈な板作り食器戸棚があります。家族、使用人が箱膳を用いての食事の場で、冬は囲炉裏のほかに火鉢もあったようです。

「茶の間」は極めて複雑で曖昧な機能を複合している空間でしたが、現在では機能と効率を重んじるリビング+ダイニングを中心とした間取りに移行、「茶の間」は消滅しつつあります。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください お待ちしております

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日 ～	11月20日(日) 10時～12時 13時～15時	押し花・葉でしおりや はし袋を作ります。 小学生以上	無料	申し込み不要 受付： 10時～11時 13時～14時
第15回初心者 茶道体験教室	12月17日(土) 13時～16時	講師： 表千家 角田宗美先生 古民家でお茶を楽しん で見ませんか。 初心者大歓迎！男性の 方もどうぞ！ 白ソックス持参	500円	11月30日(水)
創作人形	12月 9日(金) 16日(金) 13時～16時	蛤(はまぐり)に和布で 作った着物を着せます。	1,500円	11月25日(金)
布ぞうり作り	11月27日(日) 10時～12時 13時～15時	一日で、ぞうり一足制作 予定	300円	11月15日(火)
リース作り	①11月29日(火) 10時～12時 ②11月29日(火) 13時～15時	プリザードフラワー他	1,500円	11月15日(火)
布細工	11月16日(水) 13時～16時半 11月25日(金) 13時～16時半	2日で1作品制作 干支の戌を和布で作 ります。	1,000円	10月31日(月)

(1)持参品：返信ハガキで連絡します。(2)定員：「作って遊ぼう」なし、「初心者茶道体験教室」は10名、「リース作り」は①②で各10名、上記以外は12名。応募者多数のときは抽選。(3)参加費は不要(4)応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

♪ 本郷ふじやま公園のホームページを公開！ ♪

本郷ふじやま公園をより多くの人達に知っていただくために、ホームページを10月15日に公開しました。アドレス(URL)は http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p です。どうぞアクセスしてください。

第1段階として公園概要を紹介しています。引続き行事や体験教室の予定・内容を逐次公開する予定です。皆様のご協力をお願いいたします。 田代眞治

◆本郷ふじやま公園運営委員会 〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL:896-0590 FAX:896-0593

- ・開館時間： 9:00～17:00 ・入館料：無料
- ・休館日：11月 2日(水)
- ・クリーンアップ作業：11月1日(火)、15日(火) 10時～11時

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。